

J H F ハング・パラグライダー助教員 各 位

社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟
会 長 内田 孝也

2 0 0 8 年度 J H F 教員検定会開催要項

1. 事業名称 J H F 教員検定会
2. 目 的 社団法人日本ハング・パラグライディング連盟定款第 4 条の(4)に基づき、ハンググライディング教員技能証及びパラグライディング教員技能証を取得しようとする者に対し、教員技能証の申請に係わる検定試験を行うことを目的とします。
3. 対 象 者 J H F ハンググライディング助教員技能証または J H F パラグライディング助教員技能証の交付を受けた者であって、J H F 技能証規定で定める教員技能証の申請資格要件を検定日までに充たすことが明らかな者を対象とします。
4. 申込方法 「2008 年 J H F 教員検定会」に参加を希望する方は、添付してある次の書類一式を J H F 事務局へ提出して下さい。
 - 1 2008 年度 J H F 教員検定会参加申込書
 - 2 有効な「J H F 助教員技能証」のコピー（参加申込書に貼付け）
 - 3 有効な「フライヤー登録会員証」のコピー（参加申込書に貼付け）
 - 4 所属する都道府県連盟理事長が発行する「教員候補推薦書」
 - 5 日頃助教員活動の監督を行っている教員による「実務経歴証明書」
 - 6 参加費 20,000 円の払込票等のコピー（参加申込書に貼付け）
 - 7 過去 3 年以内の普通救急救命講習修了証（消防署発行）のコピー（参加申込書に貼付け）
5. 内 容
下記「教員検定会注意事項」を参照
6. 開催日時
全国の検定員が参加申し込みをいただいた方と検定日時の調整行い、都合の良い日に随時実施いたします。設定した検定日が気象状態により 1 日で全ての検定が実施出来ない場合があることをあらかじめご了承ください。実施出来なかった科目については再度検定員と調整の上受検してください。
7. 宿 泊 先
宿泊が必要な参加者は検定員と相談してください。

8. 費用概算

教員試験受検費（申込時 J H F に納入）	20,000円
教員技能証申請料（合格者のみ）	1,000円
エリア利用料（全国一律 1 日傷害保険込み）	実費
離陸地点への送迎車利用料（1 回）	実費
※主催者賠償責任保険は、JHF がまとめて加入	
※各エリア施設賠償責任保険は、各エリアで加入	

9. その他

参加承諾書、資料（CD-ROM）、は参加申込書の提出と参加費の納入が確認された後、JHF より申込者あて郵送いたします。
案内地図等は開催会場のホームページ又は直接お問い合わせください。

10. 合否判定

全科目終了時点で合格科目、不合格科目をお知らせいたします。
不合格科目については独自に練習後いつでも再受検できます。

11. 研修会（検定会補習授業）

今年度より不合格者を対象に不合格科目に対する研修を個別に行います。費用、日程は受検者により異なりますが合格レベルに達するまで研修を行いますので詳細は検定員と相談のうえご検討ください。

研修費用

飛行実技、グランドハンドリング研修	15,000円以内 / 1 日
教習実技研修	15,000円以内 / 1 日

学科試験は独学の上再受検となります。

再受検費用

・実技検定

グランドハンドリング実技	3,000円
フライト実技	3,000円
誘導、指導実技	3,000円

・学科検定

3,000円

・教習実技検定

3,000円

（再受検費用は検定員に直接支払ってください。）

12. 開催地区の J H F 常設スクール、検定員氏名、連絡先は別途添付資料。

以上

教員検定会受検の注意事項

教員検定会を受検するについて、事前の受検準備や受検の心構え、試験科目の指定について下記のとおりご案内申し上げます。

注意事項を熟読のうえ、飛行実技練習も含め万端の準備を整えて検定会に臨んで下さい。検定試験は原則として1日で行う予定ですが気象状態によっては分割せざるを得ない場合もあります。学科検定試験と教習実技検定試験および飛行実技検定試験が行われますが、検定会の中で試験科目や問題について詳細説明はありませんので、事前に勉強と練習のうえご参加ください。再受検は何度でも可能ですが合否結果内容によってはお断りする場合があります。その際は検定員と研修についてご相談のうえ再受検をご検討ください。

記

飛行実技検定試験に使用する機体、装備について

PGの実技試験に使用する機体は、DHVクラス1または1-2 程度又は同等の機体といたします。

レスキューパラシュート等の安全に関する装備は適切に装備し且つ、3ヶ月以内にリパック、点検されたものを使用してください。

HGにおける使用機体とハーネス等の装備品は、通常初級スクーリングに使用されているグライダーをご準備下さい。

●教習実技検定について

- 1 教習実技試験は、検定員又は参加者を講習生とみなして模擬の講義を行うものです。
- 2 出題は、JHF 教本から行いますので、教本を熟読の上、事前に講義の準備をしておいてください。試験は、くじ引きにより引き当てた3項目について行なわれます。模擬講義内容は、質疑応答を含めて最長でも10分を越えない程度の構成とし、**講習生はNP技能証取得者と想定してください**。講習生の立場から見て、解りやすく好感の持てる講義であることが重要なポイントとなります。全般について豊富な言葉と広範囲な知識が必要となるでしょう。

3 [教習実技の模擬課題]

ウィンドグラジェントとはどういう現象か、飛行にどのような影響を及ぼすか
気温減率とは
ウインドシアーとは何か。
強い上昇気流から回避する方法と高度処理方法について
パラグライダーにおいて、Aライザーを使った30%程度の片翼

折り練習を行う際の実施前 説明について
スパイラル練習を行う際の実施前説明及び予想される危険性について
エアールールに関して
失速の定義と起こりうる状況、そして回復方法
テイクオフとランディングの注意点と予想される危険性について
初めてのエリアを飛ぶ時の注意点と着目点
パラグライダーの潰れの対処方法について。
風速、風向変化による最良滑空比と沈下速度について

●学科検定について

- 1 学科試験の出題範囲は多岐にわたるものです。
- 2 J H F 教本の全般と救急や保健等の一般的に指導者として必要な知識が出題されます。
- 3 パイロット学科試験よりも高いレベルでの知識が要求されます。研修会では出題問題に対する詳細説明講習は行いませんので、事前に J H F 教本や参考書等で勉強しておく必要があります。
- 4 J H F の技能証学科科目の全般から出題され、問題数は25問程度、合格判定基準は正解率70%以上です。

●実技検定について

- 1 現地で実施項目と採点項目の詳細を発表いたしますが、試験科目は次のとおりを予定しています。
- 2 実技検定の内容（明細は別紙採点表を参照）

[パラグライダー]

- ・グランドハンドリング実技
- ・フライト実技
- ・誘導、指導実技

検定員の指示する内容の模擬実技（検定員または同僚の受検者らをフライトする講習生に見立て、誘導等指導の実技）を行っていただきます。詳細は別表実技試験採点表に従う。

[ハンググライダー]

離陸前の機体と装備のセッティング

離陸直前の機体の構え方(バランスの良い安定した構え)

テイクオフ（ピッチに変化の無い安定したスムーズなテイクオフ）

直線飛行（地上に白線を引き、その真上を正確に風向きに関係なく直線飛行）

ランディング（地上の白線上に、風向きに関係なく-偏流フレア含む-ランディング）

ハンググライダーの飛行実技試験は、上記の基本操縦技術の他に受検エリア合わせ科目を設定します。各科目共に完璧に実演できることが要求されます。

以 上